



前期人権教育強化月間で学んだこと

6/5～7/5までの期間、前期人権教育強化月間として各学年で学習をしてきました。前期人権教育強化月間の導入として、学校長より「権利の熱気球」の講話があり、身近にある様々な権利について「自分にとってはどの権利が大切か」を各クラスのグループでディスカッションしました。短い時間ではありましたが、人間が生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利の大切さを考える機会になりました。

今年度の前期人権教育強化月間では、全学年でジェンダーについて考える時間を設けました。また、学年に応じた内容を扱い、それぞれ考え合いました。

「人権感覚は、鉄球のように磨かなければ錆びついていく」と言われるように、学び続けなければならないものであると考えています。「権利の熱気球」や各学年での学習内容について、家庭でも話題にあげていただけますと幸いです。

権利の熱気球

7個の荷物（権利）と共に地上高く浮いている気球に乗っています。ところが、気球が段々下がってきてしまい、下にはサメがいます。助かるには荷物（権利）を捨てていく他にありません。捨てていく順番を考え、最後に残った権利について友だちの考えを聞きましょう。

- ア 遊べる時間を持つ権利
- イ いじめられたり、命令・服従されたりしない権利
- ウ 好きな本を読む権利
- エ お店で好きな商品を選べる権利
- オ 自分の部屋を持つ権利
- カ 正直な意見を言い、それを聞いてもらう権利
- キ 誰かを愛し、愛される権利

【各学年の学び】

<1学年>

○安心感の持てる学級づくりをねらいながら「学級への所属感を持つことができる」「互いの理解を深める」「差別に気づくことができる心を育む」「差別をなくしていこうとする実践力をつける」ための授業を行いました。

①友だちづくりのエクササイズ（自分を語る『出せる』雰囲気作り）

②「友を見る目」（資料「春男と秋男」から）

中学校生活にも慣れ友人関係が固定化し「○○さんはこういう人だ」と決めつけているかもしれない自分自身について、自分の級友に対する見方が一面的で、偏見につながっていないか見つめ直しました。

<生徒の感想>

自分に合わない人、付き合いづらい人は居ると思うけど、それは自分の感じ方だから、その人の良いところを見るようにしたり、相手が悪いと決めつけないでみたりする必要があると思いました。

③「ちがいのちがい」

生活していく上で人間関係の中にある「ちがい」を、「あってよいちがい」と「あってはいけないちがい」という視点で考え、「ちがい」を正しく理解し、人権感覚を磨きました。

<生徒の感想>

今日は人権のことについての授業をやりました。数ある「ちがい」の中から、いいちがい、だめなちがいに分けました、人によって考えが違うことに気づいて、びっくりしました。

④男女理解（おとこのくせに、おんなのくせに）

アニメ「はながっぱ」を学年全体で視聴し、性の多様性や新しい家族観について考え合いました。

<生徒の感想>

今日は、（学年）合同学活がありました。まさか、合同学活ではながっぱを見るとは思いませんでした。でも、久しぶりに見て、なつかしい気持ちになりました。内容もジェンダー的な感じで、心があったかくなりました。

< 2 学年 >

①主に「性の多様性」について学習し、誰もが安心して生きることができる社会について考え合いました。



①「明日から、着よう」

カナダで実際にあった「ピンクシャツデー」といういじめ反対運動についての資料を読むことを通して、誰もが安心して過ごせる社会にするために大切なことを考えました。

②「性のグラデーション」

LGBT や社会的な性と、自認の性の違い、また、なぜ性は男女の2種類があるのか考えることを通して、人権尊重について考えました。

< 生徒の感想 >

性は一人一人の基本的な人権だから、ばかにしないようにしたり、接し方を意識して生活したり、一人一人の性を考えていかなければならないと思った。

③「ジェンダー平等」

無意識に持っている「男らしさ」「女らしさ」について考え、性による不平等をなくし、「自分らしさ」を大切にしながら生きることについて考えました。

< 生徒の感想 >

「自分の悪いところや良いところを認めて、他の人もいろいろな『自分らしさ』があるということを思いながら、それを否定しない人になりたい。自分と同じく、人にも『自分らしさ』があるので、ばかにしている人がいたら注意したい。

④「性の多様性」

一人一人趣味嗜好や個性が違うことから、性の表現方法を考え、誰もがありのまま、安心して暮らせる社会の実現に向けて自分たちができることを考えました。

< 3 学年 >

①主には部落差別について学習しながら、「性の多様性」についても考え合いました。



①「性の多様性について」(LGBTQ)

< 生徒の感想 >

今日5時間目に性の勉強をしました。私はこの授業を受ける前は、あまり性のことは知らないままでした。性について学習してみると、男性でも男性が好きとか、女性だけど両方好き、男性と女性とどちらも決めたくないなど、たくさんの性があるんだと思いました。そして、自分の表現や考え方も、もしかしたら〇性に近いかもしれないとか、どちらでもないかもしれないと思ったり、考えたりするようになりました。明日の授業でもっと多様性について考えたいです。

②昨年度の学習の振り返りと「解放令」

③「三月三日の風」と水平社宣言

< 生徒の感想 >

人権の授業で「三月三日の風」のまとめをやった。水平社宣言の文はとてもかっこよかった。被差別部落人々の強い思いが伝わってきた。差別され続けていたのに、人間である誇りを持っているところとか、とてもかっこよかった。もっと学んでいけるようにしたい。

④水平社宣言と草つき穴

⑤日野覚醒会

水平社創立・宣言をとおして、差別された人々の差別解消への取組みを学習することを通して、自分自身の生活の中でも差別をなくしていけるよう考え合いました。

< 生徒の感想 >

人権作文を書きました。過去の学習カードを読み返したときに、改めて差別はすごく恐ろしいと感じました。町の人たちから色々と言われたり、石や物を投げられたりなど、昔の時代と変わらず、今の時代まで続いていると思うと怖いです。昔の人々の辛い気持ちを作文で表せるといいです。